回覧

日赤茨城

Red Cross Ibaraki

2026 秋

特集 令和８年熊本地震



広報紙「日赤茨城」 編集・発行 日本赤十字社茨城県支部 〒310-0914 茨城県水戸市小吹町2551 TEL029(241)4516

巡回診療を行う日赤救護班（熊本県宇城市）

日本赤十字社 茨城県支部
Japanese Red Cross Society

いばらき健康経営 推進事業所

1877~2027 150 YEARS AND BEYOND

日本赤十字社は
2027年に150周年。

令和８年熊本地震　日本赤十字社の活動

届けるのは、支援と安心



令和８年７月28日(火)、熊本県熊本地方を震源とする地震が発生し、熊本県内を中心に甚大な被害が生じ、多くの方が支援を必要とされています。

日本赤十字社では、被災された方の命と健康を守るために、全国の支部及び赤十字病院等が連携して被災地域の支援活動に取り組んでいます。

主な活動

巡回診療



避難所での生活による体調不良を防ぐため、健康相談と診療を行いました。

(日赤茨城県支部第１救護班：水戸赤十字病院)

避難所の生活改善



避難所の生活を確認し、生活環境の改善に取り組みました。避難生活による身体の負担軽減を目的に、段ボールベッドの設置を支援しました。　(日赤茨城県支部第２救護班：古河赤十字病院)

支援を受けた方からの声



北九州市役所職員(行政支援)　吉川　雄大さん

避難者の方から「日赤が来てくれて助かった」「安心した」という声をいただき避難所の管理者として心強く感じました。

健康上の配慮が必要な方について医学的な視点から助言をいただき、避難所の円滑な運営につながりました。



八代市高田コミュニティセンター避難者

避難生活では体調に不安を感じることもあったので、健康相談などの支援がありがたかったです。

何よりも、毎日巡回して来てくださったことが印象に残っています。「今日も来てくれた」ということが、大きな安心感につながっていました。

職員・ボランティア派遣

救護班
延べ **149** 班

災害医療コーディネートチーム
延べ **61** チーム

こころのケア班
延べ **33** 班

を派遣

(令和８年９月７日現在)

最新の活動状況はこちらから
(日赤本社Webサイト)

救護活動にあたった職員から



水戸赤十字病院
石川　結美子 医師

現地は崩壊した家屋や断裂した道路があり、町の景色だけでも被害の大きさを感じました。猛暑の中、断水が続き、大変な状況にも関わらず、被災された方々は「私達は大丈夫です。」と気丈に振るまい、そして他の人を気遣う姿がとても印象的でした。

赤十字のマークを見て体調の相談をしてくれる方や、赤十字の救援物資「安眠セット」を喜んでくださる方がおり、救護班としての活動の重要性を感じました。



水戸赤十字病院
新藤　めぐみ 看護師長

避難所では、環境が整っているように見えても、断水により入浴や洗濯ができず、「災害だから仕方がない」と不自由を我慢される姿に、「自分や家族だったら」と考え、被災者の生活や思いに寄り添う大切さを痛感しました。また、対応に追われる市職員の疲労を感じ、支援する側にも、こころのケアが必要であると感じました。看護師長としては、猛暑の中で活動するメンバーの安全と体調管理に努めました。この経験を今後の災害救護活動に活かしていきたいと思います。



日本赤十字社茨城県支部
荒川　公太 主事

救護活動では被災者のお話に耳を傾ける機会が多くあります。何気ない会話の中にも不安や困りごとが隠れており、相手のお話を丁寧に聞くことの大切さを改めて実感しました。被災直後の不安や先の見えない生活への心配など、一人ひとりが異なる思いを抱えていることを知りました。

相手と目線を合わせて接し、安心して話せる存在であることも救護班の役割の一つであると学びました。

離れていてもできる被災地支援

日本赤十字社では、**義援金**と**赤十字活動資金**を受け付けています。

被害を受けた方々の生活を支えるために

義援金

被災都道府県に設置される義援金配分委員会へ**全額**をお送りし、自治体を通じて、被災した方々の生活支援に役立てられます。

令和８年熊本地震災害義援金

受付期間：７月31日（金）～10月30日（金）
受付延長となる場合があります。

○ゆうちょ銀行
○三井住友銀行
○三菱UFJ銀行
○みずほ銀行
○市役所・町村役場
赤十字担当窓口で受付けています。義援金が赤十字活動資金として使用されることはありません。

詳しくはこちら
日赤本社Webサイト

ひとりでも多くの命を救うために

赤十字活動資金

災害救護活動、安眠セットや災害用備蓄品の配布など、**いのちを救う活動**に役立てられます。

ご協力方法

○ゆうちょ銀行
お振込みには右の払込取扱票をご活用ください。
○常陽銀行
○クレジットカード
○市役所・町村役場
赤十字担当窓口で受付けています。
詳細は日本赤十字社茨城県支部までお問合せください。

詳しくはこちら
ご寄付について（茨城県支部）

ご寄付には、税制上の優遇措置があります。

いのちを救う日赤の活動

避難所の生活環境改善の取り組み

災害で避難を余儀なくされた方々が、少しでも安心して過ごせるように――
日本赤十字社は、避難所の生活環境を整えるための支援を行っています。



被災された方の休息を支える「安眠セット」

安眠セットの内容



- キャンピングマット（広げると約2メートル）
- 空気式の枕（高さ調節可能）
- アイマスク
- スリッパ
- 耳栓
- 靴下
- タオルケット

※セットの内容は、状況により変更となる場合があります。

安眠セットを届けました



安眠セット **2,244** セット
を配布（令和8年9月7日時点）

この他、「毛布」「タオルケット」「パーテーション」などを避難所にお届けしました。

皆様のご支援が、被災地での休息を支えています。



ご支援が笑顔と安心につながります。
心より感謝申し上げます。

日本赤十字社
茨城県支部
活動資金専用
払込取扱票

この払込取扱票によるご寄付は、赤十字活動資金として活用されます。
赤十字からの各種ご案内は、ご寄付を強制するものではありません。

払込取扱票

99 東京

口座記号番号	金額
00100-0-78972	※ 千 百 十 万 千 百 十 円

加入者名：日本赤十字社茨城県支部
料金：
備考：免

ご依頼人・通信欄
おところ 〒 －
※
おなまえ
※
お電話番号

◎日赤発行の受領証が必要な方は☑をお願いします。□必要
今回のご寄付は日赤茨城県支部の活動資金として、災害救護をはじめとした茨城県内の赤十字事業に活用させていただきます。

日赤茨城県支部活動資金
右の「受領証」は寄附金控除の申告に使用できます

地区分区扱い会員
日赤茨城2026.秋号

日附印

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号東第53203号）
これより下部には何も記入しないでください。

切り取らないでお出しください。

振替払込請求書兼受領証

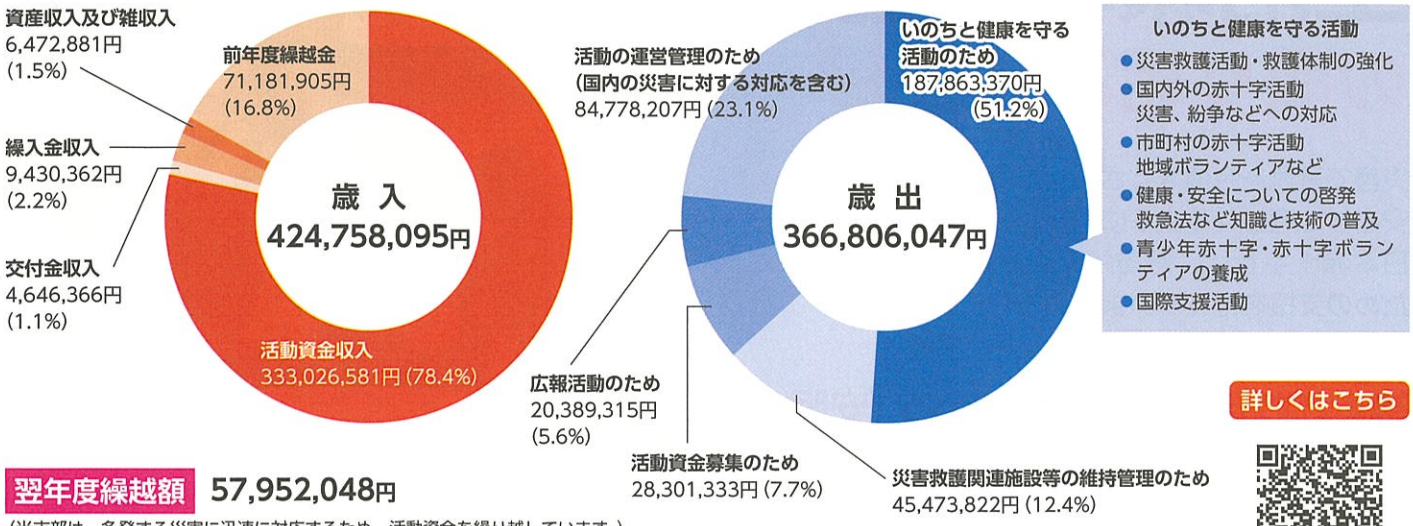
口座記号番号	00100-0-78972
加入者名	日本赤十字社茨城県支部
金額	※ 千 百 十 万 千 百 十 円
ご依頼人	おなまえ ※ 様
料金	日附印
備考	免

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

令和７年度　日赤茨城県支部　決算報告

令和８年６月19日(金)、当支部において第141回評議員会を開催しました。令和７年度の事業報告及び収支決算報告について審議し原案どおり承認されました。



翌年度繰越額　**57,952,048円**

(当支部は、多発する災害に迅速に対応するため、活動資金を繰り越しています。)

※施設ごとの特別会計のため、本決算に水戸・古河赤十字病院、茨城県赤十字血液センター、日本赤十字社茨城県支部乳児院の会計は含まれておりません。

詳しくはこちら

日赤茨城県支部事業報告書



「日赤茨城」読者アンケート



アンケートにご協力いただいた方、
抽選で20名様に赤十字グッズをプレゼント！

◀二次元コードを読み取り、専用フォームからご回答ください！

受付期間：令和９年１月15日(金)まで

※個人情報は厳重に管理し、プレゼントの送付先情報に使用するほか、日本赤十字社茨城県支部からの各種ご案内、活動資金募集などに使用します。

資金の有効活用のため、この受領証をもって日本赤十字社の受領証にかえさせていただきます。
なお、本受領証は寄附金控除の申告にご使用いただけます。

払込みいただいた金額は個人については、所得税法第78条第2項第3号の規定に基づく寄付金に該当し、法人については、法人税法第37条第4項に基づく寄付金に該当します。

〒310−0914　日本赤十字社
茨城県支部　組織振興課
電話 029-284-1380(組織振興課直通)

〈ご注意〉
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ATMではご利用いただけません。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・この用紙による、払込料金は無料となります。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

この場所には、何も記載しないでください。

この払込取扱票によるご寄付は、赤十字活動資金として活用されます。
赤十字からの各種ご案内は、ご寄付を強制するものではありません。

\企業・団体のみなさまへ/
いばらき赤十字法人サポーター制度のご案内

日本赤十字社茨城県支部では、当支部の事業活動を積極的に支援する企業・団体のみなさまとのパートナーシップの確立などを目的に「いばらき赤十字法人サポーター」制度を設けています。

制度概要



一定額以上を当支部に活動資金としてご協力を頂いた企業・団体様を

当支部広報媒体でご紹介します



資格証を発行します

社会貢献を内外にPRするうえでご活用ください

登録費用・会費

毎年１回以上、サポーター基準以上の活動資金のご協力があれば、その他費用は掛かりません

登録方法

サポーター基準以上のご協力をいただいた企業様には、順次登録に関するご案内をお送りいたします。

詳しくは当支部ホームページ内、本制度ご案内ページをご覧ください

（問い合わせ）日赤茨城県支部組織振興課　TEL：029-284-1380

ご案内ページ

いばらき赤十字法人サポーター

わたしたちは日本赤十字社茨城県支部の活動を継続的に支援しています。

芙蓉リビング株式会社
株式会社常陽銀行
公益財団法人茨城新聞文化福祉事業団
株式会社セイビ
一般社団法人茨城県建築士事務所協会
株式会社コスモソニックツーワン
髙塚建設工業株式会社
湯本茂税理士事務所
海老根建設株式会社
常磐建設株式会社
神栖商事株式会社
株式会社ササモト
金沢産業株式会社
株式会社カンセイ
Ogu cafeまゆゆふぁ～む
茨城県建設業協会建設未来協議会
エム・ケイ・アール株式会社
千勝神社
東康建設工業株式会社
谷原建設株式会社
株式会社石島建設
株式会社八木組
株式会社新みらい
中川ヒューム管工業株式会社
株式会社小林建設
波崎地区企業連絡会
植村建設株式会社
山中建設工業株式会社
株式会社市原工業
株式会社秀商
株式会社小林造園
有限会社久米薬局
株式会社伊藤鐵工所
湖南電設株式会社
有限会社マル英商事
一般社団法人茨城県バス協会
有限会社渡辺自動車
株式会社小林電気商会
有限会社シン建設
つくばアウルライオンズクラブ
常総開発工業株式会社
野口工業有限会社
株式会社穂高建設
水戸自動車工業株式会社
三勇建設株式会社
月崇寺

令和８年６月末現在（登録順・敬称略）

サポーター企業一覧は、上記「ご案内ページ」に掲載しています